

# 6月議会一般質問



一般質問する砂田市議 6月8日

## 竹 新たな活用を

砂田市議 富山県が今年3月にまとめた「富山の竹資源利用整備促進検討会報告書」によると、竹は県西部に集中している。県は新たな竹の活用方法として、タケノコ以外に、製紙、パルプに活用1046トン、キノコの栽培地や堆肥、畜産飼料などのバイオマナ利

用に2116トンの生産拡大をめざす。現在の県内生産量1055トンを2016年に14000トンに拡大しようという、たいへん意欲的な目標だ。

竹の伐採、チップ化、肥料化、キノコ栽培地の活用などに対する支援策の具体化を。竹を紙にする方法を実現するため、小矢部市として高岡広域圏や津幡町に共同の取り組みを呼びかけて、製紙メーカーとの協議を。

竹資源ネットワークに協力

産業建設部長 県の最新の調査によれば、小矢部市の竹林は800ヘクタール。富山県では、富山の竹資源利用整備検討委員会を設置し、竹の紙、パルプ材としての用途拡

大の提言を受けている。印刷特性に優れた紙が生産される。

県では本年度に、富山の竹資源ネットワークを設立する。竹林の所有者と竹材やタケノコなど竹資源を必要とする企業、団体の方々にメンバーでネットワークを構築し、資源に関する情報や市場の情報を提供し、生産者と利用者の橋渡し、竹林改良講習会を開催する。本県には製紙工場があることから、このメンバーに加わってもらい、竹を紙にする取り組みについて検討されるものと思

## 市の備品管理

### 年1回は 棚卸しを

砂田市議 年1回棚卸しをし、備品管理システム

の情報(備品台帳)と現物との照合を。

会計室長 各部署の所属長が管理し、備品の異動があった場合には備品台帳を更新し、新たに取得した備品については年度末に登録の確認を行う。再度、各所属長にたいし、保有している備品と備品台帳との照合作業をしっかりと行うよう指示した。

砂田市議 パソコンの廃棄処分について、情報漏洩を防ぐために、ハードディスクの破壊を。

総務部長 総務課で専門業者に委託し、処理を行っている。情報漏洩を防ぐために、ハードディスクの廃棄方法を検討して、記録媒体であるハードディスクを電磁気破壊方式、物理的破壊方式により完全にデータを破壊してから廃棄する方法をとっている。

## 請願

### 農地法改悪反対

「コメの備蓄を」  
「最低賃金  
引き上げを」



「農地法改悪反対」国はルール通り、「コメの備蓄買い入れを」「最低賃金引き上げを」「コメの請願」を「コメの請願」が6月議会にかけられ、日本共産党の砂田喜昭市議は賛成討論をしましたが、自民党所属議員らの反対で不採択となりました。

## 農地法改悪反対

6月議会後、結局、自民公明・民主の賛成で改悪農地法が成立しましたが、砂田市議は請願の賛成討論で、農地が外国資本や農外大企業への金儲け、投機の対象になると警告しました。

自民党参院議員も

外資参入に懸念表明

自民党の元農林水産副大臣で、岩永浩美参院議員も、農林水産委員会での外国資本の参入が心配だと、法案の修正を提案した。だが、法案の修正を優先させた自民党の方針でこの提案を取り下げ

## 「コメの備蓄を

てしまいました。しかし、これは日本の農地を外国資本に売り渡す無責任な態度です。

砂田市議は政府が100万トンの「コメ在庫を維持する」として自ら決めたルールを守り、20万トン規模の買い入れを、「世界で10億人が飢え、5秒に1人の乳児が死亡しているときに、日本が外国から「コメを買い入れるのは許せない」

「コメの備蓄を増やし、世界の飢餓軽減に貢献を」と呼びかけました。

自民党所属議員らは何一つ反対理由を述べないで、「この請願を

## 最低賃金引き上げを

葬り去りました。

砂田市議は最低賃金を時給1000円に引き上げれば、2兆6425億円の経済波及効果がある、中小企業対策と並行して実施すべきと主張しました。最低賃金制を創設した1958年の国会で当時の岸首相も最賃制の施行によって中小零細企業の劣悪な労働条件が改善され、能率もあがり、事業も安定し、過当競争もなくなるということが、むしろ中小企業の対策としても効果がある」と述べたことを紹介し、中小企業対策では大企業による下請け単価たたきの規制こそ重要」と強調しました。

## 石動小学校 建て替えへ

石動小学校の耐震補強について、現在地の地盤強度を調査した結果、体育館側の地盤はそれなりの強度があるが、西側校舎の下の地盤は柔らかく耐震補強工事だけでは不十分な恐れがあることがわかりました。市では、県教委とも協議し、現在地での建て替えで対応することにしました。

## 能越自動車道料金

### 市議会

#### 無料化めざして 署名運動

小矢部市議会は6月12日、市庁(旧コト)前で能越自動車道料金の無料化をめざして値下げ署名を、議員総出で行いました。

### 共産党

#### 値下げに支援を 政府交渉

日本共産党富山県地方議員団は5月29日、住民からの要望を持って、日本共産党の井上さとし参院議員の紹介で政府関係省庁と交渉しました。小矢部市から砂田喜昭市議も参加し、能越自動車道料金値下げに支援を要望しました。



国土交通省で交渉する砂田市議(中央)=5月29日

国土交通省 国土交通省道路局有料道路課 支援を検討

「の署名運動は、小矢部市議会が自治会連合会、商工会、企業協会、農協などに呼びかけたもので、それぞれの団体でも取り組まれ、6月30日で1万4千人を超える署名が集まりました。市議会は7月1日、県知事にこの署名を提出しました。